保育 内容	基礎的な事項 生命の保持・情緒の安定			(領 域)						
	目的 十分に看護のゆき届いた環境とくつろいだ雰囲気 の中で、子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。			健康	人間関係	(リズム)表 現(造形)	言葉	環境		
大 単 元 月	安全			保健衛生	欲求の充足					
楽 しい 保 育 園	4月	・道路の安全な歩き方を身につける。 ・遊具の安全な使い方を知らせる	・手の洗いや、拭き方を身に付ける。 ・一人一人にトイレの使い方を知らせ、一人で出来るようにする	・できるだけ一人一人の欲求を受け止めてやる。 ・登園を嫌がる子はスキンシップを心がける。	・健康に必要なことを身に付ける。 ・なるべく戸外に出て遊ぶようにする。	・園生活の流れが分かり、園生活に慣れる。 ・保育士や友達と一緒に好きな遊びをする。	・知っている歌や曲を聴いたり歌ったりする。 ・知っている歌曲に合わせて体を動かす。	・身近な場所ですら自由に描く。 ・保護者の話が聞けるようになる	・ふれあいの飼育、栽培を通して、自分達との生活の関わりが気づき、感謝の気持ちや生命を尊重する心が育つようになる。 ・社会や自然、身近な事象を直接的または教材等を通して、確かに理解できるようにする。 ・日常保育の中で、体験を通して数量、形、位置、時間等の感覚を無理なく養うようになる。	
	5月	・信号の見方など正しい交通ルールを守らせる。 ・園生活の流れの中で、安全な過ごし方が分かる。	・清潔な習慣を身に付けさせる。 ・運動しやすい衣服の調節をはかっている。	・不安定な状態の子には、保育士が笑顔で接してやる。 ・一人遊びを楽しんでいる子には、無理に友達との関わりを要求しないようにする。	・正しい食生活の習慣を徐々に身に付けてやる。 ・保育士と一緒に追いかけてたり逃げたりして遊ぶ。	・遊びの決まりを知り、保育士や友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近の始末の仕方が分かり、始末をしようとする。	・身近な物の動きをまねて表現する。 ・簡単な楽器を使って遊ぶ。	・身近にある材料を使って描いたり作ったりする。 ・おはよう、さようならが言えるようになる。	・水道の栓、スコップ等の使い方を教える。 ・散歩に出るのびのびと遊ぶ。(集める、さわる)	
	6月	・雨の日の安全な歩き方を知らせる。 ・子ども自身に安全に対する能力が育つようにする。 ・避難訓練に参加する。	・歯磨き、うがいの仕方を覚える。 ・午睡の習慣を身に付けさせる。 ・促されて、濡れた衣服は自分で着替えるようにする。	・子どもが話しかけてきた時には、ゆくり対応する。 ・友達に乱暴したり無理な要求をする子には、その都度話を聞いてやるようにする。	・梅雨期を健康に過ごすようにする。 ・室内での運動用具を使って遊ぶ	・自分の好きな遊びを見つけ、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・身近な社会事象に関心を持つ。	・リズムカナル集団遊び、簡単な身体表現を楽しむ。	・積木、ブロックで好きなものを作って遊ぶことを楽しむ。 ・粘土の感触を楽しむ。	・絵本や紙芝居を読んでもらう。 ・友達と作った事をおしゃべりできるようにする。	・身近な小動物と遊ぶ。(かたつむり等) ・梅雨期の自然に触れる。 ・身辺を清潔にする。
夏 の 遊 び	7月	・はきみ等用具の安全な使い方を知らせる。 ・安全な水遊びのルールを身につけていく。 ・水遊びに出かける時は大人と一緒に行く習慣をつける。	・汗が出たら、拭くように促す。 ・戸外に出る時は帽子を被らせる	・友達の仲間入りができない子は、保育士が仲立ちをして誘う。 ・自分の意思を無理に通そうとする子には、話し合ってから分らせる	・自分の身体について、興味、関心をもつ。 ・夏遊びを十分に楽しむ。 ・暑さに負けず、元気に過ごす。	・遊びの決まり、約束を守り、友達と仲良く遊ぶ。 ・後片付けの習慣をつける。	・知っている歌や曲に合わせて楽器遊びをする。 ・歌詞を楽しんで歌う。	・生活に必要な言葉が言えるようになる。 ・水に親しみ遊ぶ。 ・面白かった事等を保育士や友達に話しかける。	・大ききや形に関心を持って遊ぶ。 ・水に親しみ遊ぶ。 ・いろいろなおもちゃで遊ぶ。	
	8月	・家を離れる時は、家族の人に先を伝えて行動させるようにする。 ・長時間、直射日光に当たらないようにする。	・プール遊びに必要な保健衛生面を大切にすること。 ・夏の決まりのある生活を守りながら、涼しい水陰で遊ぶなどの要領を身に付ける。	・過労にならないように、十分休息をとるように配慮する。 ・水分の補給、汗の始末を促していく。	・夏の健康に気を付け、体力を落とさないようにする。 ・水遊びを十分に楽しむ。	・遊びの中で決まり、約束の大切さを知る。 ・生活の中で水の大切さを知る。	・子どもの好きな曲を聴いて体を動かす。 ・楽器の名前やその正しい使い方、大切さを知る。	・色の変化に気づき関心をもつ。 ・絵本、紙芝居等を見ながら話す。 ・童話を聞いて楽しむ。	・夏の遊びを通して科学する心を育てる。 ・夏の花を愛情を持って育てる。 ・物の数量、形、色の違いに関心を持つ。	
	9月	・勝負にこだわらず、安全に留意しながら競技を進めさせるようにする。 ・戸外で安全に気を付けながら運動的な遊びを楽しませる。	・運動した後は十分に休息をとらせるようにする。 ・体の異常には気を付けてやると共に、自分で保護者に伝えるようにする。	・一人一人の思いを見つめ受け入れながら、我儘の見極めをつき、我慢する事も知らせる。 ・運動量の多い遊びを設定し、エネルギーの発散を促すようにする	・集団での遊びの楽しさを楽しむ。 ・走る、つかまる、よじ登る等して遊ぶ。	・いろいろな遊びをみんなと一緒に行うことを楽しむ。 ・自分から進んで片付ける。	・フォークダンスや手遊び、わらべ歌等で楽しむ。	・砂や粘土で自分の好きな物を作ることを楽しむ。	・放送やCDをよく聞いて行動する。 ・簡単な数、勝負等の言葉に関心を寄せる。	・秋の自然に親しむ。 ・みんなで作った物の収穫を味わう。
元 気 な 体	10月	・婦警さんの指導により、基礎的な交通の決まりが分かるようにする。 ・遊びを通して、運動用具の安全な使い方を知らせる。	・食事は正しい姿勢でよく噛んで食べるようにする。 ・うがい、手洗い、汗拭き等、促されて自分でする。	・子どもの自己主張は、その都度言い分を聞いてやるようにする。 ・仲良しの友達同士と、ほっとしたひと時が過ごせるように配慮する。	・何でもおいしく食べよう。 ・いろいろな乗り物ごっこをする。 ・運動用具を使って平衡感覚を養う。	・遊びを通して貸したり譲ったりできるようになる。 ・異年齢児とも遊んでみる。	・知っている歌や曲に合わせて簡単な部分打ちをする。 ・集めた自然物を利用して、新しい材料用具に慣れる。 ・遊びに必要な物を作り、使って遊ぶ。	・応援ができる。 ・リズムカナル言葉の繰り返しを楽しむ。 ・遊びに必要な物を作り、使って遊ぶ。 ・生活に必要な言葉が言える。	・遊びの中で順番、左右に関心をもつ。 ・行事に参加する。	
	11月	・保育士の指導により、避難の方法を知る。 ・危険な遊びや危険な場所に留し、環境の設定に気を付ける。	・薄着の習慣を身に付ける。 ・手洗いははしむやけにならないように綺麗に拭きとらせる。	・自分の欲求が上手く表せない子には感情の高ぶりを沈めるような対応の仕方を考える。 ・集団への仲間入りができない子には、その理由を考え対応する。	・冬の健康生活に気を付ける。 ・道具を使って引く、押す、こぐ等して遊ぶ。	・順番を待つ、我慢すること等で決まりを守ることを知る。 ・保育士、友達との約束を守る。	・音楽を楽しんだり聴いたり歌ったりする。 ・版画遊びの面白さを味わう。 ・貼紙をいろいろ工夫して並べる、貼る、包む等して遊ぶ。	・簡単な物語の筋が分かる。 ・生活に必要な言葉が言える。	・自分の大きくなった事に関心をもつ。 ・園外保育で働く人を見学、感謝する。 ・自然を見て太い、細い、長い、短いを知る。	
	12月	・暖房器具の安全な接し方を知らせる。 ・約束を守って遊べるようにする	・個々の状態をよく見て、手洗いや、うがい、鼻をかむ、用便は早めにいく等の習慣を身に付けさせる。	・好きな友達と好きな遊びを十分に楽しませる。 ・基本的な生活習慣の自立をはかりながら、一人でやろうとしている子には励ましの言葉かけをする。	・寒さに負けず、戸外でいろいろな運動をする。 ・食事の時は落ち着いてよく噛んで食べる習慣を身に付ける。	・いろいろな行事に参加する。 ・みんなと一緒に片付ける範囲が多くなる。	・声をそろえて歌う楽しさを味わう。 ・いろいろな楽器の音色を聴き拍手打ちを楽しむ。	・ごっこ遊び、劇遊びに必要なものを作る。 ・必要材料を適切に使えるようにする。 ・ハサミ、のり、セロテープ等上手に使える。	・話しかけに応じる。 ・伝言ができる。 ・話の内容が分かり、イメージを持って楽しんで聞く。	・動物物の冬ごもりを知る。 ・いろいろな種々の形を知る。 ・師走の町の様子を見る。
春 を 待 つ	1月	・凍りついた道路を歩くときは滑らないように注意させる。 ・雪や水で遊んだ後は、水気を拭き取るようにする。 ・ポケットに手を入れたまま行動しないようにする。	・暖房器具の点検、使用方法など保育室の衛生管理にも気を付ける。	・トラブルから生ずる感情の乱れを受け止め、心の安定をはかっている。	・園での生活習慣を確かめ、自信をもって行動できるようにする。 ・ボール遊びを楽しむ。(投げる、蹴る、転がす)	・遊びを通して友達との繋がりが深まる。 ・保育士の指示に従って行動ができる。	・塗ること、描くことの楽しさを十分に体験する。 ・ハサミ、のり、セロテープ等上手に使える。	・行事の出来事を話す。 ・絵本やTVを見て、共通な話題を出し合う、話し合う。	・冬の動物物を見る。 ・身近な冬の事象に触れる。 ・冬ならではの遊びをする。(氷作り、雪だるま)	
	2月	・動きが鈍る純に厚着をしないようにする。 ・見知らぬ人にはむやみについて行かないようにする。	・身の周りのことを自信を持ってできるようにさせる。 (食事、着脱、用便の始末等)	・自立の芽生えを育てるように一人一人への対応を十分にすること。 ・園生活の中で言葉の交流を十分に促す。	・戸外で体を動かして、いろいろな運動遊びに取り組み。 ・最後まで頑張つて取り組む。	・自分と人との持ち物を区別し自分で片付ける。 ・自分のやりたい遊びをする。	・みんなで歌うこと、一人で歌うことを楽しむ。 ・歌や曲に合わせて歩く、小走り、スキップ等表現する。	・切る、貼る、くっつける、穴を開ける等して劇遊びに必要な物を作る。	・絵本、紙芝居等を見ながら自分で話す事を楽しむ。 ・話や劇、ごっこを楽しむ。	・節分の行事の話を知り、又、遊びをする。 ・冬の寒さ、春の暖かさを知る。 ・日常生活の中で順番を知る。
	3月	・遊具、用具の正しい使い方の約束を守り、危険な遊びをしないようにさせる。 ・身の周りのことはほとんど一人で交えるようにする。	・個々の保健衛生に関する習慣が身に付いているかを確かめできない場合は努力させる。	・子どもが十分遊べるような環境設定を工夫する。 ・自分の考えや要求を出していく中で、相手の考えに気づくような言葉かけをする。	・みんなと一緒にリズムに合わせて振ったり、跳んだり、体操したりする。 ・みんなと遠足に行く。	・心身の成長に気づき、進級の喜びと期待をもつ。 ・上級との交流を楽しむ。	・いろいろな楽器を使って演奏したり、友達の演奏を喜んで聴く。	・形や色の組み合わせの面白さに気づく。 ・作品を大切に整理する。	・人の前で恥づかしがらずに話す。 ・正しい発声ができるようになる。 ・大きな声ではっきり言えるようになる。	・遠い、近いの距離感が分かる。 ・身近な自然に気づき、生活との関わりを知る。